

大学連携の在り方について

1 これまでの主な取組（参考：参考資料 2）

- 学長講演、議長講演（協定締結時）
- 議会、調査特別委員会の傍聴
- 休日議会等での学生と議員との意見交換
- 常任委員会の出前委員会
- 調査特別委員会での大学教授からの意見聴取
- 調査特別委員会での学生からの発表

2 課題

- これまでの取組は単発のものが多く、継続性に欠ける
- 複数の大学と行う取組が少ない
- 大学側のニーズへの対応（R8.5.18・22 座長大学訪問）
 - ・大学のカリキュラムは前年度に決まってしまうことから、早めに連携活動の計画を立てる必要がある。（全大学）
 - ・議員の得意分野が分かると、大学側も講義等の依頼を検討しやすい（茨キリ大）
 - ・議会についての関心を高めるため、親しみやすい内容で、A4サイズのチラシ等があると学生が手に取りやすい（常磐大）
 - ・議員提案政策条例についてなど、卒論執筆に必要なインタビューが議員にできるとよい（茨大）
 - ・年に2回くらい連携活動があるとよい（流経大）
 - ・県議会や議員の仕事が分からない学生が大半なので、直接議員と話ができるとよい（流経大）